

サワイグループホールディングス株式会社

# 2024年3月期第3四半期 決算説明資料

2024年2月14日

東京証券取引所 プライム市場  
証券コード:4887

sawai

## 3Q累計より米国事業を非継続事業に分類

売上収益～税引前四半期利益は、継続事業である日本事業の金額

四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

## 日本事業(継続事業)

### ● 売上収益は前年同期比10.4%増、コア営業利益は前年同期比11.8%増

(+)2022年度、2023年度製品の売上増加

(+)低薬価品を中心に原価高騰に伴う影響分を価格に反映

(-)薬価改定の影響による単価下落

(-)エネルギー価格、原薬・資材価格高騰の影響

(-)一部品目の回収に係る費用

### ● 供給の状況

⇒現在の限定出荷・出荷停止品目数:256品目、通常出荷550品目

⇒他社供給状況、限定出荷品目の需給・在庫状況等を勘案し随時限定出荷品目の見直しを実施

### ● 生産数量

⇒23年度3Q累計の生産数量は委託生産含め約120億錠(23年度年間計画171億錠、進捗率:70.0%)

## 米国子会社の株式等譲渡

### ● 米国事業からの原則撤退を決定(P12に記載)

## 通期業績予想の修正

### ● 日本事業(継続事業)の進捗と米国事業の非継続事業化を踏まえ、通期連結業績予想を修正(P10に記載)

# 2024年3月期(2023年度) 第3四半期決算概要

- 3Q累計より米国事業を非継続事業に分類※1
- 売上収益は、2022年度以降発売製品の売上伸長により、前年同期比10.4%増、コア営業利益は前年同期比11.8%増

(単位:百万円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	対前年同期	
			増減率	増減額
売上収益	123,230	<b>136,056</b>	+10.4%	+12,826
コア営業利益	17,666	<b>19,754</b>	+11.8%	+2,088
コア営業利益 (トラスト社を除く)	21,389	<b>24,033</b>	+12.4%	+2,644
営業利益	14,672	<b>17,263</b>	+17.7%	+2,591
営業利益 (トラスト社を除く)	18,253	<b>21,498</b>	+17.8%	+3,245
税引前利益	14,570	<b>17,071</b>	+17.2%	+2,501
四半期利益	10,770	<b>9,243</b>	▲14.2%	▲1,527
親会社の所有者に帰属する四半期利益	10,845	<b>13,501</b>	+24.5%	+2,656
基本的1株当たり四半期利益(EPS)	247.66	<b>308.25</b>	+24.5%	+60.60

為替レート(期中平均)

1ドル137円

1ドル143円

※1 売上収益～税引前四半期利益は、継続事業である日本事業の金額。四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

※2 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因等による損益を除いて算出

# 米国事業（非継続事業）の第3四半期業績

- 非継続事業の3Q累計の業績は以下の通り

(単位:百万円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	対前年同期	
			増減率	増減額
収益	27,954	<b>30,276</b>	+8.3%	+2,322
費用	28,254	<b>51,412</b>	+82.0%	+23,158
税引前損失	▲300	<b>▲21,136</b>	-	▲20,836
法人所得税費用	-	<b>▲18,750</b>	-	+18,750
四半期損失	▲300	<b>▲2,386</b>	-	▲2,086
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (▲損失)	▲225	<b>1,872</b>	-	+2,097

為替レート(期中平均)

1ドル137円

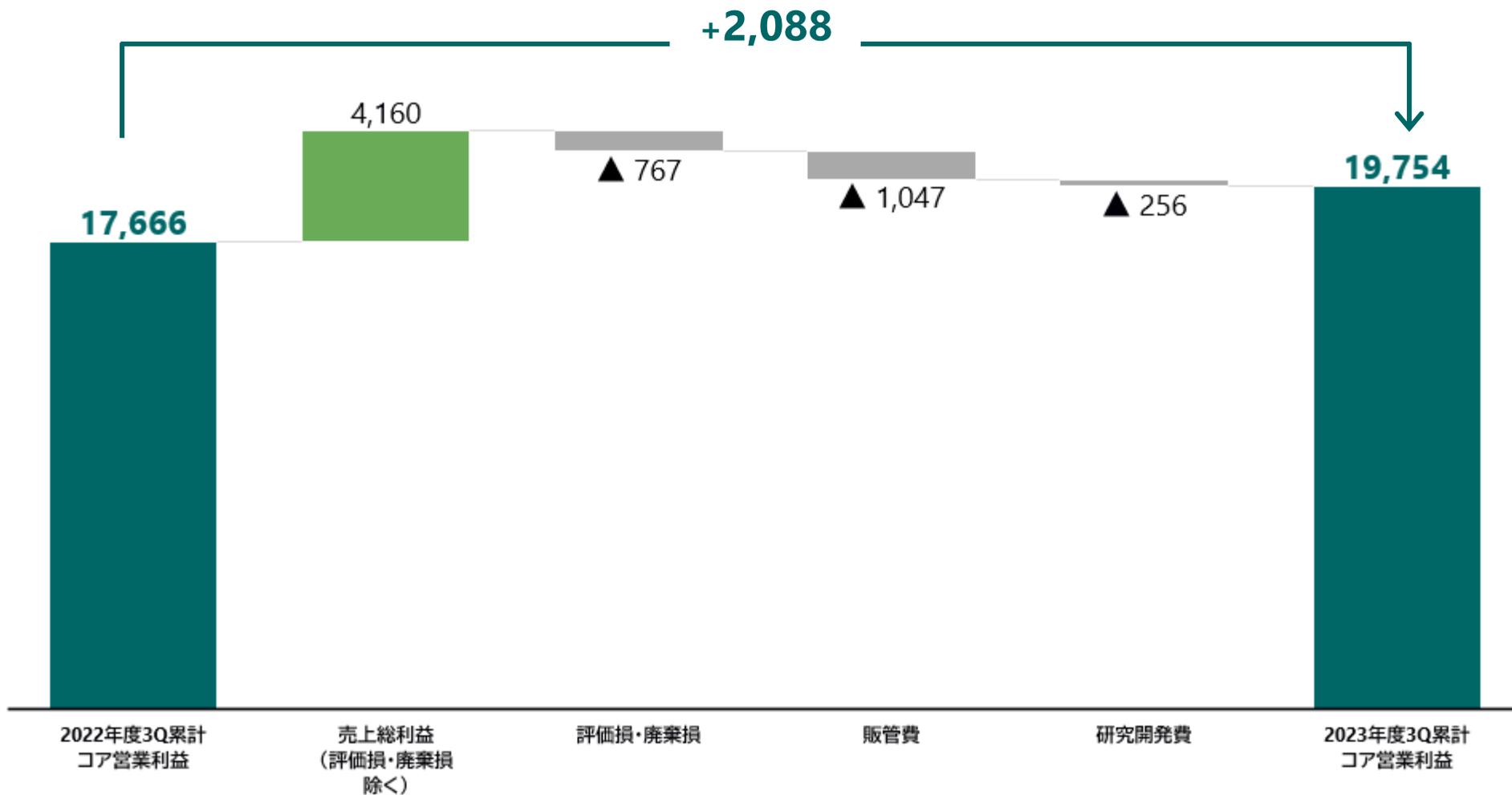
1ドル143円

※ 費用のうち、▲20,793百万円は、非継続事業を構成する処分グループを、売却コスト控除後の公正価格で測定したことにより認識した損失

なお、3Q累計においては、クローリング前であることから、米国事業の取得時と売却時の資産・負債に関わる為替相場の変動(バランスシート上の為替換算調整勘定)の損益影響は反映されていない。

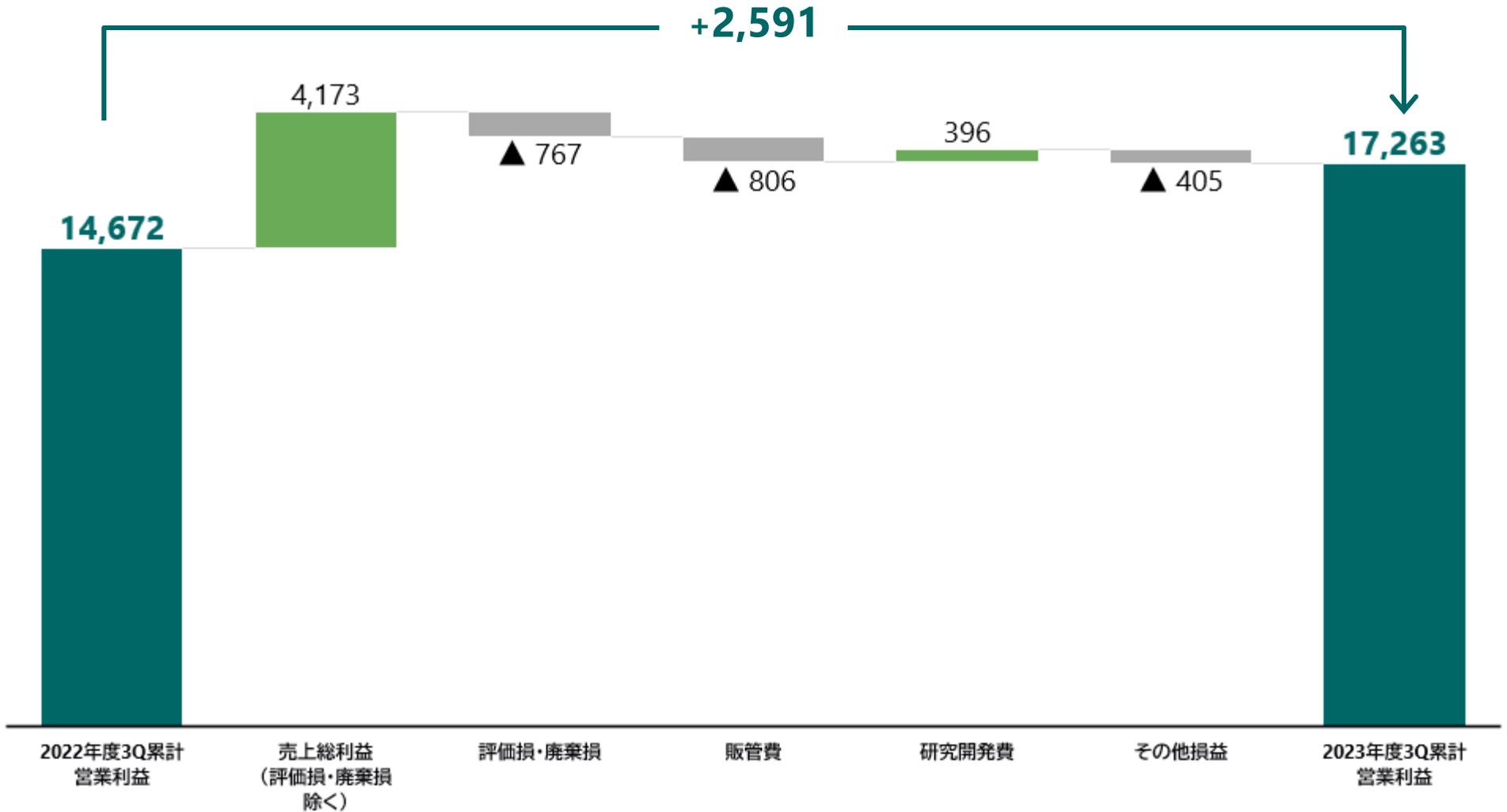
# 【継続事業】コア営業利益の増減要因

(単位:百万円)



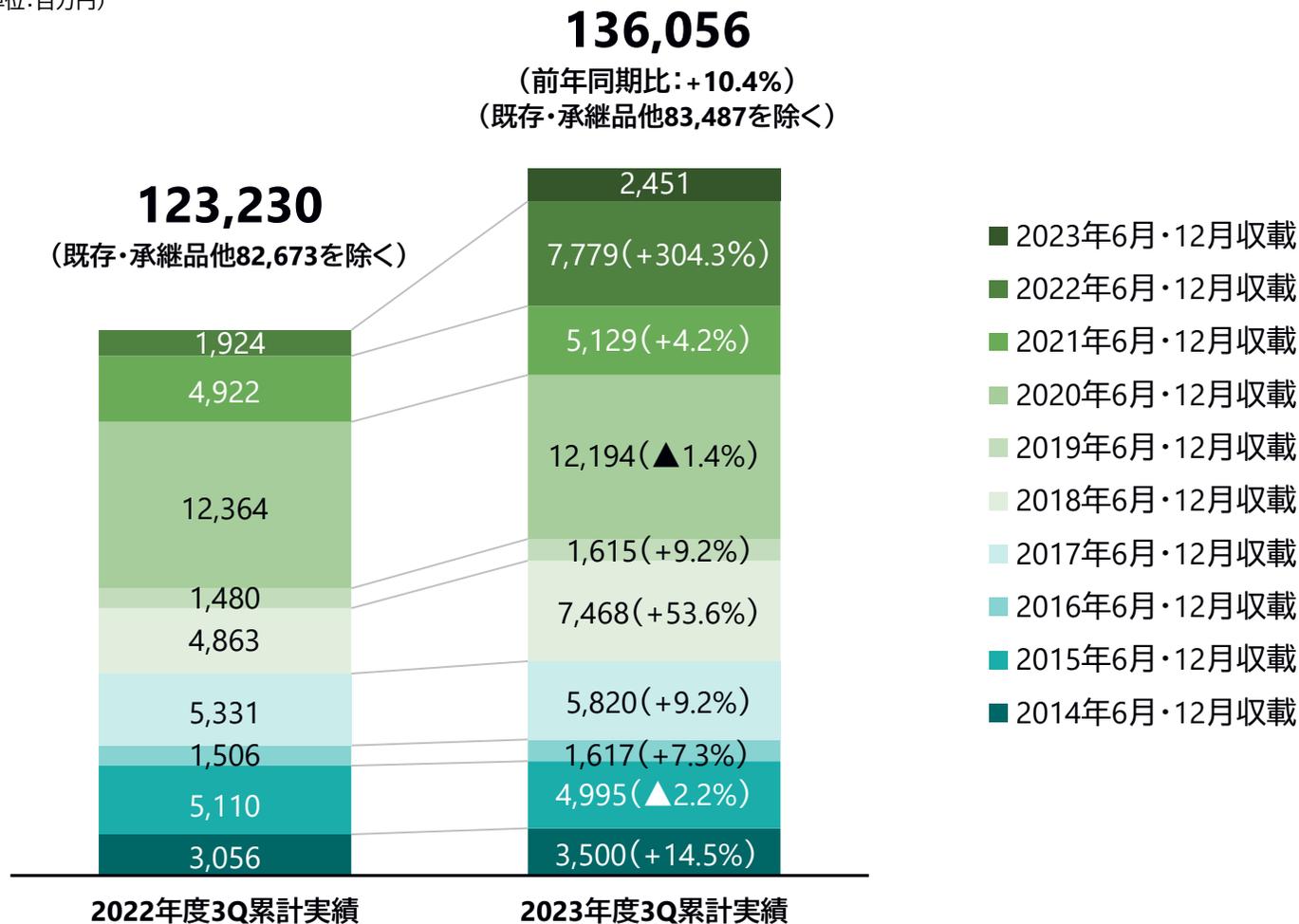
# 【継続事業】営業利益の増減要因

(単位:百万円)



- 2022年度以降収載品の売上が伸長

(単位:百万円)



- 米国事業売却後は、親会社所有者帰属持分比率、ネットD/Eレシオが改善することを想定

2023年12月末

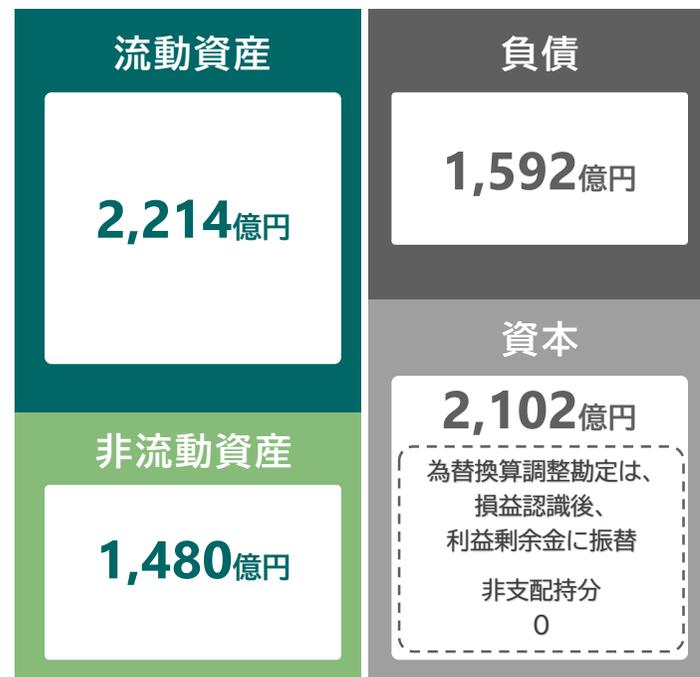
資産合計 **3,908億円**



親会社所有者帰属持分比率 **53.8%**  
ネットD/Eレシオ **0.29**

米国事業売却後推計

資産合計 **3,694億円**



親会社所有者帰属持分比率 **56.9%**  
ネットD/Eレシオ **0.12**

※ 米国事業の資産(・負債)の金額は、売却コスト控除後の公正価値に洗い替え後の金額

- 第二九州工場の新固形剤棟の建設含めさらなる生産能力向上のための設備投資を実施

(単位:百万円)

	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	増減	2023年度3Q累計の主な内訳
営業活動によるCF	3,414	<b>14,237</b>	+10,823	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税引前四半期利益 17,071百万円</li> <li>・ 減価償却費及び償却費 13,585百万円</li> <li>・ 売上債権及びその他の債権 ▲12,474百万円</li> <li>・ 棚卸資産 ▲6,354百万円</li> </ul>
投資活動によるCF	▲23,010	<b>▲19,780</b>	+3,230	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有形固定資産の取得による支出 ▲16,343百万円</li> <li>・ 無形資産の取得による支出 ▲4,984百万円</li> </ul>
財務活動によるCF	77	<b>9,348</b>	+9,271	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期借入金の純増 18,549百万円</li> <li>・ 配当金の支払額 ▲5,694百万円</li> </ul>
現金及び現金同等物の 期末残高	28,902	<b>28,298</b>	▲604	
EBITDA(調整後) <sup>*2</sup>	26,750	<b>28,793</b>	+2,044	

\*1 (EBITDA(調整後)を除き、継続事業と非継続事業合算ベース)

\*2 コア営業利器+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

# 2023年度 通期業績予想の修正

- 日本事業(継続事業)の進捗と米国事業の非継続事業化を踏まえ、通期連結業績予想を修正
- なお、株式等譲渡実行日が流動的であることから、親会社の所有者に帰属する当期利益は「未定」\*1

	2023年度通期業績予想			2023年度実績	進捗率	(単位:百万円)
	当初予想 (連結)	当初予想 (日本事業)	修正予想	3Q累計		
売上収益	217,200	180,500	<b>180,000</b>	136,056	75.6%	継続事業
コア営業利益*2	19,900*3	16,300	<b>23,000*3</b>	19,754	85.9%	
コア営業利益 (トラスト社を除く)	25,300	21,700	<b>28,500</b>	24,033	84.3%	
営業利益	15,100	13,500	<b>20,000</b>	17,263	86.3%	
営業利益 (トラスト社を除く)	20,500	18,900	<b>25,500</b>	21,498	84.3%	
税引前利益	14,800	-	<b>19,700</b>	17,071	86.7%	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	11,300	-	<b>未定</b>	13,501	-	
基本的1株当たり当期利益 (EPS)	258.04	-	<b>未定</b>	353.03	-	
EBITDA(調整後)*4	34,000	29,500	<b>35,200</b>	28,793	81.8%	
為替レート(期中平均)	1ドル135円		1ドル144円	1ドル143円		

\*1 「米国事業にかかわる資産の取得時と売却時の為替相場の変動に伴う損益(バランスシート上の為替換算調整勘定に見合う為替差益)の計上時期」が、クローリングのタイミング次第で変動するため

\*2 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因等による損益を除いて算出

\*3 営業利益から次の項目を調整

2023年度通期(当初予想)	日本事業: 販管費 300、研究開発費 2,500、米国事業: 販管費 1,600、研究開発費 400
2023年度通期(修正予想)	日本事業: 販管費 300、研究開発費 2,450

\*4 コア営業利益+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

資本収益性をさらに向上させ、経営改善に取り組むべく、以下の通りの見直しを実施(1月17公表)

- 1 資本コストを意識した事業ポートフォリオ・保有資産の抜本的な見直し
- 2 経営上重視するKPIの見直し
- 3 株主還元・配当方針の見直し

## ①資本コストを意識した事業ポートフォリオ・保有資産の抜本的な見直し

### ● 事業ポートフォリオの見直し

収益力が資本コストを下回る状況が続く米国事業からの原則撤退を決定

米国事業において保有する株式を、Bora Pharmaceutical Holdings, Inc. に譲渡

#### ■ 背景

- ・ 米国市場において勝ち抜いていくには、製品戦略での差別化を進めるための更なる製品戦略投資や新工場を有効活用するための追加投資が避けられない状況にあると判断
- ・ 一方で、日本における品質問題の課題解決と需要拡大へ対応するために日本事業への経営資源の優先投資が避けられない状況にあることを踏まえ、今回の譲渡を決定

#### ■ 譲渡金額

当社持分の売買代金 160 百万ドル(227 億円)及びEarn-out 条件達成時には8百万ドル(11 億円)を受領

また、別途USL より40 百万ドル(57 億円)価値相当を配当又は自己株式の取得により受領する予定

※1ドル=142円換算

#### ■ 株式等譲渡実行日

2024年3月末日(予定)

※米国における競争法及び関係法令に基づく関係当局の承認取得等の進捗状況によっては、変更する可能性あり

### ● 保有資産の見直し

政策投資株式の半減と旧本社・大阪工場跡地等の遊休資産の売却

## ②経営上重視するKPIの見直し

- 自社の資本コストを上回るROEの目標設定(プラスのエクイティ・スプレッドの確保・拡大)
- 自社のWACCを上回るROICの目標設定(プラスのエンタープライズ・スプレッドの確保・拡大)
- 健全なバランスシートを堅持するためのNet DEレシオ、自己資本比率の目標設定
- グループ投資委員会における収益性・キャッシュフロー・資本コストを意識した投資基準の明確化
- サステナブルな成長や資本コスト低減にもつながるコンプライアンス、リスクマネジメントを含むESGの更なる充実
- 知的資本・人的資本など非財務資本への投資を通じた企業価値向上策への取り組み
- 自社のPBR・PERの定期的分析と継続的な改善策への取り組み

## ③株主還元・配当方針の見直し

### 今後の株主還元・配当方針

- 将来の企業価値向上に資する研究開発や設備投資など新たな成長につながる投資と株主還元のバランスに配慮するとともに、中長期的な利益水準、DOE等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的な配当を行うことを株主還元の基本とし、フリーキャッシュフロー、市場動向等を踏まえ、機動的に自己株式の取得を行い、資本効率向上と株主還元の充実を図ります。

## ■ 今後のスケジュール

2024年6月発表予定の次期中期経営計画において、長期ビジョンにおける数値目標の再設定と、経営指標としての目標値の設定等を公表予定

当社子会社における  
不適切試験に対する  
再発防止策

- ・ テプレノンカプセル50mg「サワイ」について、安定性モニタリングの溶出試験において、不適切な試験が実施されていたことが判明した事象を受け、再発防止策の検討を行い、以下の通り順次対応策に取り組む

## 再発防止策及び進捗状況について

### 1. 企業風土改革プロジェクト

改革に向けた取り組みテーマ	具体的な取り組み内容	着手	完了
再教育や日常の注意喚起を継続することによる法令遵守、コンプライアンス精神の浸透の徹底	法令遵守週間を設置し(原則毎月3週目)、役員を含む全従業員に薬機法、GMP基礎等のコンプライアンス教育を実施	2023年11月	継続
	2023年度の改善活動「M1倶楽部活動」に法令遵守の観点を可能な限り織り込む	2023年11月	2023年11月完了
	2024年度の改善活動「M1倶楽部活動」のテーマを法令遵守とする	2024年3月	2025年3月完了予定
	コンプライアンス委員会の開催頻度を増やし、毎月開催とする	2024年3月	継続
全社レベルでの適材適所登用の推進のための人事制度見直し	キャリア研修の導入	2024年2月	2025年3月完了予定
	キャリア相談制度の導入	2024年4月	2025年3月完了予定
社内外からの有能な人材の積極登用	社内公募制度、社内兼業制度の導入	2023年11月	2025年3月完了予定

改革に向けた取り組みテーマ	具体的な取り組み内容	着手	完了
本社管理部門の体制や機能の見直し強化	更なるDX化の推進	2023年11月	2025年3月 完了予定
	社長直轄の情報共有会議を毎月実施する等、会議体を見直し、情報共有や議論を活性化させる	2023年10月	2023年10月 完了
内部通報システムの活用の推進強化	GMP違反等も通報対象となることを従業員へ再徹底する等、内部通報システムの理解度を向上させる	2023年11月	2023年11月 完了
	内部通報システムのアクセス方法の簡素化	2023年11月	2023年12月 完了
社長と従業員の直接対話の場の設置、 “社長メッセージ”定期発信による経営陣と 従業員との対話の促進	タウンホールミーティングの開催等、従業員と社長を含む責任役員の直接対話の場の設定	2023年12月	2023年12月 完了
	社内イントラで、社長や生産本部長等よりメッセージを定期発信する等、従業員と社長・責任役員との直接対話を促進	2023年11月	継続

## 2. 既存上市品の製造面及び品質面での再評価とその対策実施

改革に向けた取り組みテーマ	具体的な取り組み内容	着手	完了
既存上市品の製造面及び品質面での再評価とその対策実施	既存上市品の製造面及び品質面の再評価を実施 問題点があればその解消のための対策を策定・遂行するため、社内体制を整備し、再評価のための優先順位付けを行うなど具体的な対応策を実施	2023年11月	継続

## 3. 沢井製薬生産本部における再発防止策の実施

改革に向けた取り組みテーマ	具体的な取り組み内容	着手	完了
全従業員に対するGMP 教育の再実施と継続実施	① 各職場単位でのGr討議(今回の事案に関する従業員への周知教育、並びに各所属部署 単位での課題抽出の取り組み) ② 拠点責任者によりGMP・他の教育的発信 ③ 年次計画の確実な遂行	2023年11月	継続
責任役員を含む管理職、監督職の責任の明確化	① GMP規則記載内容の整備(各種責任者の役割、全工場最良内容への標準化) ② 生産本部内に品質統括部設置	2023年11月	継続
管理職、監督職、実務担当者対象の層別教育プログラムの効果検証と実施内容の見直しによるコンプライアンス意識の徹底	① 九州工場 (10~11月)、他工場(12~3月)での教育実施 ② 年次教育プログラムのレベルアップ	2023年11月	継続
工場の品質管理部門、品質保証部門への社内外からの人材確保推	必要人員数の再設定および採用活動の強化、経験を有する社員のローテーション	2023年11月	継続
管理職、監督職層の3現主義(現場、現実、現物)の徹底のための施策の実施	① 工場現場QA設置の準備 (目標2024年4月、最遅 2024年10月) ② 自己点検、ライン職 巡回指導の頻度・質向上	2023年11月	継続
作業手順書と実作業に相違がないことの検証の継続	① 品質について第三者立会による抜き取り調査 ② 製造について第三者立会による抜き取り調査	2023年11月	継続
作業資格制度の運用の厳格化	① 責任者クラス基準の設定:関西医薬品協作成「医薬品のGMP問題集」、初級編・中級編の習得 ② 全工場共通の資格認定の整備:基本資格制度のレベル評価、職務記述書等への明記	2023年11月	継続
データインテグリティ確保のためのシステム導入	①MES,LIMS 未導入工場の早期導入 ②品質イベント管理システムの導入	2023年11月	継続

## 4. 沢井製薬九州工場における再発防止策の実施

改革に向けた取り組みテーマ	具体的な取り組み内容	着手	完了
承認書との齟齬点検	聞き取りによる確認(製造、QC)	2023年5月	2023年10月 完了
承認書との齟齬点検(QC)	第三者による手技確認	2023年5月	継続
再発防止の文書改定(QC)	試験に関するSOP改定	2023年5月	2023年9月 完了
責任役員への共有体制強化	① 意見具申のSOP明文化 ② GMP委員会の運用強化 ③ 責任役員へのマネジメントレビューの実施	2023年11月	継続
QA機能の拡充および自己点検の強化	現場QAの設置	2023年10月	継続
製造部門及び品質部門への必要な資源が配分される体制整備	① 日薬連品質委員会による「製造所における人員確保の考え方」に基づく参考比率は満たしているが、計画的に人員の増員を進めていく ② クロマトグラフィーデータシステム(CDS)を導入し、データの一括管理を行うことにより、データ完全性を確保	2023年9月	継続
GMP責任者認定資格の強化	手順を見直しGMP責任者認定試験に合格することを任命の要件に追加。	2023年11月	継続
法令遵守の教育訓練継続	全工場を対象としたGMP教育(e-learning)を2023年6月より実施しており、2024年4月までの期間で全40講座(導入編10講座と基礎編30講座)の教育を実施。また、在籍している全従業員に対しては、基礎編30講座を1年10講座、3年かけて30講座の繰り返し教育を実施	2023年5月	継続

## 5. 沢井製薬信頼性保証本部における再発防止策の実施

改革に向けた取り組みテーマ	具体的な取り組み内容	着手	完了
製造所と本社品質保証部の双方性コミュニケーションの構築	本社品質保証本部部員の定期的訪問 (原則、グループの工場へ月に1回以上)	2023年9月	継続
監査機能の強化	① 監査体制の見直し ② 監査手法の見直し	2024年1月	継続
情報のデジタル化による製造所からのタイムリーな品質イベント情報の入手とDI確保	① 品質イベント管理システムの導入 ② MESとLIMSの導入 ③ 監視カメラの導入	2023年12月	継続
定期的な承認書点検の実施	製造法及び試験法に関して継続して自主点検を実施	2024年1月	継続
品質情報入手後の管理システムの整備	手順書の改定	2023年9月	2023年9月完了
責任役員と総括製造販売責任者の判断に対する第三者機関による法令遵守に基づく検証システムの構築	総責から経営陣への月次報告時に監査役が同席 責任役員によるコンプライアンス委員会への報告時に外部識者が同席(四半期毎)	2024年2月	継続
法令遵守に向けた教育の実施	① 計画的な階層別教育の実施 ② 製造所におけるGMP教育の把握	2024年1月	継続

# 参 考 资 料

- 2022年度以降発売製品や主力品の売上伸長により採用金額が増加

(単位:軒)

医療機関		2022年度3Q累計実績		2023年度3Q累計実績			前年同期比	
施設区分	全国 総軒数(a)	採用軒数	採用金額 構成比	採用軒数 (b)	カバー率 (b/a)	採用金額 構成比	採用軒数 増減	採用金額 増減率
病院	8,150	8,030	10.2%	<b>8,039</b>	<b>98.6%</b>	<b>11.1%</b>	+9	+19.9%
DPC 対象病院	1,761	1,759	6.3%	<b>1,757</b>	<b>99.8%</b>	<b>7.1%</b>	▲2	+24.1%
診療所	110,649	41,535	8.7%	<b>42,060</b>	<b>38.0%</b>	<b>8.9%</b>	+525	+12.2%
薬局等	90,333	61,256	79.9%	<b>61,764</b>	<b>68.4%</b>	<b>78.9%</b>	+508	+8.5%
保険薬局	63,713	60,952	79.4%	<b>61,429</b>	<b>96.4%</b>	<b>78.5%</b>	+477	+8.7%
薬店等	26,620	304	0.5%	<b>335</b>	<b>1.3%</b>	<b>0.4%</b>	+31	▲11.7%
その他	-	-	1.2%	-	-	<b>1.1%</b>	-	+6.7%
合計	209,132	110,821	100.0%	<b>111,863</b>	<b>53.5%</b>	<b>100.0%</b>	+1,042	+10.0%

- 近年上市品や主力品の売上等により、循環器官用薬、中枢神経系用薬、その他の代謝性医薬品は順調に増加

	2022年度3Q累計実績	2023年度3Q累計実績	前年同期比 数量増減率	前年同期比 売上額増減率
	構成比	構成比		
循環器官用薬	27.4%	<b>28.7%</b>	+10.3%	+11.8%
消化器官用薬	16.6%	<b>15.7%</b>	▲0.7%	+6.6%
中枢神経系用薬	15.3%	<b>15.2%</b>	+5.0%	+9.4%
その他の代謝性医薬品	8.2%	<b>8.4%</b>	+7.8%	+15.5%
血液・体液用薬	8.6%	<b>8.4%</b>	+2.2%	▲4.1%
呼吸器官用薬	5.7%	<b>5.8%</b>	+8.3%	+13.6%
ビタミン剤	5.7%	<b>5.4%</b>	▲0.9%	+0.5%
アレルギー用薬	2.9%	<b>3.1%</b>	+12.4%	+10.4%
抗生物質製剤	2.0%	<b>2.1%</b>	+12.0%	+19.9%
その他	7.6%	<b>7.2%</b>	+1.5%	+18.1%
合計	100.0%	<b>100.0%</b>	+5.4%	+10.4%

## デジタル・ 医療機器事業

### ■ SWD001（非侵襲型ニューロモデュレーション機器）

- ・片頭痛急性期治療:医療機器「レリビオン®」が、2023年12月に厚生労働大臣から製造販売承認を取得
- ・うつ病:米国での治験終了後、申請検討予定

### ■ SWD002（NASH※1を適応症とする治療用アプリ）

- ・株式会社CureAppとの共同開発及び販売ライセンス契約を締結した治療用アプリについて、2023年度よりフェーズ3試験を開始予定

### ■ SaluDi（PHR※2管理アプリ）

- ・地域医療およびジェネリック医薬品事業との連携強化を目的として医療施設への導入を推進中（2024年2月5日現在: 1,200件の医療施設で採用）

※1 NASH: non-alcoholic steatohepatitis（非アルコール性脂肪肝炎）

※2 PHR: パーソナルヘルスレコード

## 健康食品事業

### ■ sawaiすこやか応援団（機能性表示食品）

- ・「トリプル生活習慣」、「くっきりカアイ」の2製品を販売中
- ・引き続き未病・予防領域における商品やサービスの開発に取り組む

## 新薬事業 （オーファン疾患）

### ■ 希少疾患用医薬品（オーファンドラッグ）

- ・社内の評価体制を強化し、継続してパイプライン拡充を検討中

## 純損益計算書項目

(単位:百万円)

	2022年度実績		2023年度実績			2023年度業績予想(2024年2月14日公表)		
	3Q累計	売上比	3Q累計	売上比	前年同期比	通期	売上比	前期比
売上収益	123,230	100.0%	<b>136,056</b>	100.0%	+10.4%	180,000	100.0%	+10.0%
売上原価	84,763	68.8%	<b>94,183</b>	69.2%	+11.1%	125,000	69.4%	+10.2%
売上総利益	38,467	31.2%	<b>41,873</b>	30.8%	+8.9%	55,000	30.6%	+9.4%
販管費	16,046	13.0%	<b>16,853</b>	12.4%	+5.0%	24,000	13.3%	+7.9%
研究開発費	8,014	6.5%	<b>7,620</b>	5.6%	▲4.9%	11,000	6.1%	▲12.1%
その他の収益・費用	265	0.2%	▲138	-	-	0	-	-
コア営業利益	17,666	14.3%	<b>19,754</b>	14.5%	+11.8%	23,000	12.8%	+7.3%
コア営業利益 (トラスト社除く)	21,389	17.4%	<b>24,033</b>	17.7%	+12.4%	28,500	15.8%	+7.3%
営業利益	14,672	11.9%	<b>17,263</b>	12.7%	+17.7%	20,000	11.1%	+24.6%
営業利益 (トラスト社除く)	18,253	14.8%	<b>21,498</b>	15.8%	+17.8%	25,500	14.2%	+22.0%
税引前利益	14,570	11.8%	<b>17,071</b>	12.5%	+17.2%	19,700	10.9%	+24.3%
四半期利益	10,770	8.7%	<b>9,243</b>	6.8%	▲14.2%	未定	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	10,845	8.8%	<b>13,501</b>	9.9%	+24.5%	未定	-	-
EBITDA(調整後) <sup>※2</sup>	26,750	21.7%	<b>28,793</b>	21.2%	+7.6%	35,200	19.6%	+5.1%

※1 売上収益～税引前四半期利益は、継続事業の金額。四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

※2 コア営業利益+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

(単位:百万円)

財政状態計算書項目	2023年3月末	2023年12月末
資産合計	364,165	<b>390,798</b>
資本合計	212,738	<b>217,848</b>
親会社所有者帰属持分比率	55.4%	<b>53.8%</b>
ネットD/Eレシオ*	0.20	<b>0.29</b>

※ (有利子負債-現金及び現金同等物)÷親会社の所有者に帰属する持分合計

(単位:百万円)

キャッシュフロー計算書項目	2022年度3Q累計実績	2023年度3Q累計実績
営業活動によるCF	3,414	<b>14,237</b>
投資活動によるCF	▲23,010	<b>▲19,780</b>
財務活動によるCF	77	<b>9,348</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,902	<b>28,298</b>
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	▲19,596	<b>▲5,543</b>

(単位:円)

1株当たり情報	2022年度3Q累計実績	2023年度3Q累計実績	2023年度通期予想
基本的1株当たり 当期利益	247.66	262.52	-
(希薄化後)	247.13	307.40	-
1株当たり配当金	65.00	65.00	130.00

## ■ フルベースからコアベースへの調整について

(単位:百万円)

	2022年度3Q累計実績			2023年度3Q累計実績		
	フルベース	調整	コアベース	フルベース	調整	コアベース
売上収益	123,230	-	123,230	<b>136,056</b>	-	<b>136,056</b>
売上原価	▲84,763	22	▲84,741	<b>▲94,183</b>	9	<b>▲94,174</b>
その他	▲22	22	-	<b>▲9</b>	9	-
売上総利益	38,467	22	38,489	<b>41,873</b>	9	<b>41,882</b>
販管費	▲16,047	560	▲15,486	<b>▲16,853</b>	320	<b>▲16,533</b>
無形資産の償却費	▲444	444	-	<b>▲318</b>	318	-
その他	▲116	116	-	<b>▲1</b>	1	-
研究開発費	▲8,015	2,677	▲5,337	<b>▲7,620</b>	2,025	<b>▲5,595</b>
償却費	▲1,125	1,125	-	<b>▲1,374</b>	1,374	-
減損損失	▲1,523	1,523	-	<b>▲566</b>	566	-
その他	▲29	29	-	<b>▲85</b>	85	-
その他の収益	301	▲301	-	<b>112</b>	▲112	-
その他の費用	▲36	36	-	<b>▲250</b>	250	-
営業利益	14,672	2,994	17,666	<b>17,263</b>	2,491	<b>19,754</b>

※ 継続事業の金額

## 研究開発費・販売管理費

(単位:百万円、%)

	2022年度実績		2023年度実績			2023年度予想	
	3Q累計	売上比	3Q累計	売上比	前年同期比	通期	売上比
研究開発費	8,014	6.5%	<b>7,620</b>	5.6%	▲4.9%	11,000	6.1%
広告宣伝費	606	0.5%	<b>520</b>	0.4%	▲14.3%	1,000	0.6%

## 設備投資額・減価償却費

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	2023年度 通期予想
設備投資額(投資ベース)	17,566	<b>15,923</b>	18,500
減価償却費(固定資産・無形資産)	10,653	<b>10,733</b>	14,200
生産	6,853	<b>7,170</b>	9,600
研究・開発	2,139	<b>2,269</b>	3,000
管理・営業	1,660	<b>1,293</b>	1,600

## 人員情報

	2022年度		2023年度	
	12月末人数	構成比	12月末人数	構成比
生産	2,022	68.4%	<b>2,106</b>	69.1%
研究・開発	297	10.0%	<b>298</b>	9.8%
管理・営業	639	21.6%	<b>644</b>	21.1%
(MR)	378	-	<b>373</b>	-
合計	2,958	100.0%	<b>3,048</b>	100.0%

※ 継続事業の金額

- 本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断にもとづくものです。従って、潜在的リスクや不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。
- 潜在的リスクや不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先

サワイグループホールディングス株式会社  
コーポレートコミュニケーション部 広報・IRグループ



ir@sawai.co.jp



06-6105-5823